

震災からの復興と

まちづくり

—陸前高田の現状を踏まえ、何ができるか、必要か—

本フォーラムでは、被災地域住民NPOの方から、東日本大震災から1年後の地域の現状と、復興のとりくみについてご報告いただくとともに、全国の地域づくりについて調査研究している専門家にご講演いただき、被災地域の復興と再生、とりわけ暮らしの復興のために大学、市民として何ができるかについて考えます。また、教職員、学生、市民の皆様のさまざまな復興支援や研究活動の交流を行うとともに、豊かな自然資源を生かした地域復興・再生を実現する一つの手掛かりとして、東北物産展示販売会も実施します。皆様のご来場を心からお持ちしております。

日時:2012年 **3月22日(木)**

会場:立命館大学びわこ・くさつキャンパス
ローム記念館5階大会議室

参加無料 予約不要

11:30~13:15 復興支援活動パネル展示 東北物産展示販売

(立命館災害復興支援室、大津友の会、立命館大学経済学会学生委員会他)

13:30 ~17:00 フォーラム

■現地報告(陸前高田)

報告① 實吉義正氏

林農海支援事業まほろば企業組合専務理事

報告② 上野孝雄氏

林農海支援事業まほろば企業組合理事長

■講演

大江正章氏(出版社コモンズ代表)

■学生・教員報告

復興支援ボランティア

民科経済研究会

小池洋一(立命館大学経済学部)

■パネルディスカッション



大江正章(おおえただあき)氏

1957年、神奈川県生まれ。1980年、早稲田大学政治経済学部卒業。1996年、コモンズ創設。現在コモンズ代表、ジャーナリスト、アジア太平洋資料センター代表理事、全国有機農業推進協議会理事。関心領域は農・食・環境・アジア・自治など。約270冊の単行本を編集すると同時に、おもに農山村を歩いて日本社会のあり方を問い直すルポを発表している。かたわら有機農業運動を広げ、仲間と無農薬で米をつくり自給。主著『農業という仕事』(岩波ジュニア新書、2001年)、『地域の力』(岩波新書、2008年)、『新しい公共と自治の現場』(共著、コモンズ、2011年)、『政治の発見⑦ 守る一境界線とセキュリティの政治学』(共著、風行社、2011年)、など。東日本大震災後に、コモンズから「脱原発社会を創る30人の提言」を緊急出版。

キャンパスマップ



主 催:立命館大学社会システム研究所
共催 後援 協力:立命館災害復興支援室、立命館大学民科経済研究会、
立命館大学経済科学研究会、立命館大学経済学会学生委員会、大津友の会、
京都新聞滋賀本社
連絡先:立命館大学リサーチオフィスBKC
TEL 077-561-3945 FAX 077-561-3955 social-s@st.ritsumeikan.ac.jp